

平成23年度

航空旅客動態調査

— 集計結果 —

平成26年3月

国土交通省航空局

平成23年度 航空旅客動態調査

- 集計結果 -

目次

調査概要

1	調査目的	1
2	調査内容	2
3	調査対象	5
4	調査方法	5
5	調査実施日	5
6	回収状況	5
7	集計内容	7

1. 集計結果(平日)

平日	表1	OD表(空港間純流動)	1 - 1
平日	表2	OD表(空港間総流動)	1 - 10
平日	表3	OD表(県間流動)	1 - 19
平日	表4	空港別 出発地・目的地・現住所	1 - 23
平日	表5	空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	1 - 150
平日	表6	OD別 旅行目的	1 - 153
平日	表7	OD別 旅行日数	1 - 159
平日	表8	OD別 旅行行程	1 - 165
平日	表9 - 1	OD別 利用航空券の種類	1 - 171

平日	表 9 - 2	OD別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	1 - 177
平日	表 9 - 3	路線別	利用航空券の種類	1 - 181
平日	表 9 - 4	路線別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	1 - 185
平日	表 10	OD別	乗り換え空港	1 - 189
平日	表 11	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	1 - 204
平日	表 12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数	1 - 214
平日	表 13	出発空港別	アクセス経費	1 - 218
平日	表 14	出発空港別	見送り人数・空港滞留時間	1 - 222
平日	表 15 - 1		空港間移動の手段	1 - 226
平日	表 15 - 2		空港間移動の所要時間	1 - 228
平日	表 15 - 3		空港間移動の経費	1 - 229

2. 集計結果（休日）

休日	表 1	OD表	（空港間純流動）	2 - 1
休日	表 2	OD表	（空港間総流動）	2 - 10
休日	表 3	OD表	（県間流動）	2 - 19
休日	表 4	空港別	出発地・目的地・現住所	2 - 23
休日	表 5	空港別	出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	2 - 152
休日	表 6	OD別	旅行目的	2 - 155
休日	表 7	OD別	旅行日数	2 - 161
休日	表 8	OD別	旅行行程	2 - 167
休日	表 9 - 1	OD別	利用航空券の種類	2 - 173
休日	表 9 - 2	OD別	利用航空券の種類（{その他割引}の割引率の内訳）	2 - 179
休日	表 9 - 3	路線別	利用航空券の種類	2 - 183

休日	表 9 - 4	路線別 利用航空券の種類 ({ その他割引 } の割引率の内訳)	2 - 187
休日	表10	OD別 乗り換え空港	2 - 191
休日	表11	出発空港別 最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	2 - 207
休日	表12	出発空港別 アクセス所要時間・乗り換え回数	2 - 217
休日	表13	出発空港別 アクセス経費	2 - 221
休日	表14	出発空港別 見送り人数・空港滞留時間	2 - 225
休日	表15 - 1	空港間移動の手段	2 - 229
休日	表15 - 2	空港間移動の所要時間	2 - 231
休日	表15 - 3	空港間移動の経費	2 - 232

3 . 航空旅客動態調査を用いた旅客流動分析等

(1)	調査実施状況の変更点	3 - 1
(2)	航空を取り巻く状況の変化	3 - 13
(3)	調査結果の動向分析	3 - 15
	旅客特性	3 - 16
	空港における利用交通手段に係る動向分析	3 - 22
	航空機の出発時間帯別における旅客特性	3 - 29
	東日本大震災に関わる東北地方の旅客状況	3 - 34

調 査 概 要

1 調査目的

本調査は、我が国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地）、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査内容

本調査は、以下に示す質問から構成されており、それぞれの詳細は、次頁に示す調査票のとおりである。調査内容は、平日用・休日用とも同一とするが、両者を区別するため平日用は黒文字、休日用は青文字で印刷した。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1) 出発空港 | (7) 旅行目的等 |
| (2) 出発地 | 旅行目的 |
| (3) アクセス実態 | 旅行日数・旅程中の日数 |
| 利用手段 | 旅行行程の相違 |
| 所要時間 | 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港 |
| 経費 | 自家用車来港者の駐車場利用の有無 |
| 空港滞留時間 | 同行者数 |
| 自家用車来港者の駐車場利用の有無 | 見送り人数 |
| (4) 利用航空券の種類・座席の種類 | (8) 個人属性 |
| (5) 目的地 | 性別 |
| 目的地 | 年齢 |
| 到着空港 | 職業 |
| 乗り継ぎ空港・目的空港 | 年収 |
| (6) イグレス交通手段 | 現住所 |
| | 同行者の属性(性別・年齢・職業・年収) |

調査票サンプル (1)

航空旅客動態調査票

Travel Survey for Domestic Air Passengers
国内航空旅客の旅運統計調査 / 항공여객동태조사

国土交通省

おつろぎのところ誠に恐れ入ります。国土交通省では、飛行機を利用して移動されている方の目的や行程を把握し、今後の航空行政を検討する際の基礎資料とするため『航空旅客動態調査』を実施しております。調査は**無記名で実施し、調査票の集計は統計的に処理しております**ので、皆様にご迷惑をお掛けすることは一切ございません。
お手数をお掛け致しますが、ご協力をいただきたく、よろしくお願い致します。
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism is conducting this questionnaire. Thank you for your cooperation. 本調査是由日本国土交通省主导的。我们非常感谢您的合作。
국토교통성에서는 설문조사를 실시하고 있습니다. 협조를 부탁드립니다.

※必ずご一読下さい。

◎日帰り旅行の方：行きのご回答頂いた場合でも、お手数ですがもう1度ご回答下さい。
◎国内線の乗継ぎを行った方：既に本日、調査にご協力頂いた場合、ご回答頂く必要はありません。
◎ご家族(現住所が同一の方)で旅行されている方：代表者の方**1名様**だけがお答え下さい。

以下の質問にご回答下さい。選択式の問いは該当する番号に○印をご記入下さい。

問1. はじめに、あなたの現住所をお答えください。
Question 1. Please fill your place of residence.
问题1. 请填写您的国籍和居住地。 질문 1. 당신의 현주소지를 응답해 주십시오.

住んでいる国 / Country of residence 居住国家 / 거주하는 국가	<input style="width: 90%;" type="text"/>	例: 日本 Ex: 中国 / 台湾 / 한국 / USA /	
現住所 / City of residence 居住城市 / 현주소지	<input style="width: 20%;" type="text"/> 都・道府・県 (Metropolitan / Prefecture) (省/直轄市/自治区) (특별시/광역시/도)	<input style="width: 20%;" type="text"/> 区・市・郡 (City / District) (地区/自治州/地级市) (시/구/군)	<input style="width: 20%;" type="text"/> 区・町・村 (Ward / Town / Village) (동 / 鎮級市) (읍/면)

次の設問からは日本語のみとなります。引き続きご協力を宜しくお願い致します。
Following questions are only available in Japanese. If you don't understand Japanese, you don't need to answer following questions. Thank you for your cooperation. Have a good flight!
以下問題仅适用于日语。感谢您的合作。祝您旅行愉快!
다음의 질문은 일본어만으로도 되어 있습니다. 만약 일본어를 모르시는 경우에는 다음의 질문에 응답해 주실 필요는 없습니다. 좋은 여행 되시기를 바랍니다!

問2. 今回の旅行全体について、お答え下さい。

問2-1. 旅行の主な目的をお答え下さい。

1. 仕事 2. 観光 3. 観光以外の私用・帰省 4. その他

問2-2. 旅行は「日帰り旅行」と「宿泊を伴う旅行」のどちらでしょうか？また、「宿泊を伴う旅行」をされている方は、旅行の「全体日数」と本日が「何日目」かについてもお答え下さい。

1. 日帰り 2. 宿泊を伴う旅行

全体日数 泊 日
本日の行程 日目

便名 ※記入しないで下さい (調査員記入欄)

質問は裏面に続きます。

問2-3. 旅行の帰り(または、行き)に、現在と同じルートの航空路線を利用されますか(されましたか)?

1. 利用する(利用した) 2. 他の航空路線を利用する(利用した)
3. 他の交通機関を利用する(利用した) 4. 転居・赴任等により片道の旅行
5. わからない

問2-4. 本日は、国際線を利用される予定ですか(または、利用されましたか)?

1. 利用しない 2. これから利用する(またはすでに利用した)

利用する(利用した)空港を (国際)空港
ご記入下さい。

問2-5. 3才以上の同行者の人数をご記入下さい。(ご家族以外も含みます。)
※同行者がいない場合は、「0人」とご記入下さい。

人

問2-6. 空港までのお見送りの方の人数をご記入下さい。(小学生以上)
※お見送りの方がいない場合は、「0人」とご記入下さい。

人

問3. 個人属性についてお伺いします。

ご自身の性別・年齢・職業・年収を右の記入表に番号でご記入下さい。
また、同行されているご家族(現住所が同一の方)についてもご記入下さい。

	ご本人	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5
<性別> 1. 男 2. 女	性別	<input style="width: 30px;" type="text"/>				
<年齢> 1. 14歳以下 2. 15~19歳 3. 20~24歳 4. 25~29歳 5. 30~34歳 6. 35~39歳 7. 40~44歳 8. 45~49歳 9. 50~54歳 10. 55~59歳 11. 60~64歳 12. 65~69歳 13. 70~74歳 14. 75歳以上	年齢	<input style="width: 30px;" type="text"/>				
<職業> 1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他	職業	<input style="width: 30px;" type="text"/>				
<年収> 1. なし 2. 100万円未満 3. 100~199万円 4. 200~299万円 5. 300~399万円 6. 400~499万円 7. 500~699万円 8. 700~899万円 9. 1,000~1,499万円 10. 1,500~1,999万円 11. 2,000万円以上	年収	<input style="width: 30px;" type="text"/>				

当設問は、旅客の平均的な年収を算出することにより、航空利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空行政の参考とするためにお聞きしています。

調査票サンプル（２）

問4. 現在の行程についてお答え下さい。

※日帰りの出張・旅行の方は、現在の行程が往路の場合には用務先を目的地(問4-5)としてお答え下さい。また現在の行程が復路の場合には用務先を出発地(問4-1)としてお答え下さい。

現在お乗りになっている飛行機

※出張・旅行からお帰りの方は、仕事先・宿泊地が出発地

利用区間・便名
航空券の種類

※出張・旅行からお帰りの方は、ご自宅等が目的地

問4-1. 現在の行程の出発地が、現住所(問1)の場合は口にし印を、それ以外の場合は 住所をお答え下さい。

現住所が出発地である いいえ 都・道 府・県 区・市 郡 区・町 村

はい

海外不明

・住所が不明、特定できない場合は、近くの駅名やホテル、観光地名などをご記入下さい。
・出発地が海外の方は国名をご記入下さい。

問4-2-1. この飛行機に搭乗した空港までに利用した交通機関を順番に番号でご記入下さい。

本日、国際線を利用された方へ

※本日、出発空港で国際線から直接乗り継いだ方は、問4-3にお進み下さい。

※出発空港以外の空港で国際線を利用した方は、国際線到着空港から出発空港までの行程をお答え下さい。
(例えば、成田空港→羽田空港、関西空港→伊丹空港)

1. 新幹線
2. JR特急(新幹線除く)
3. JR在来線(新幹線・特急除く)
4. 私鉄・地下鉄
5. モノレール
6. 空港直行バス※1
7. 高速バス※2(空港直行以外)
8. 貸切バス
9. 路線バス・市内電車
10. タクシー・ハイヤー
11. 自家用車、社用・公用車
12. レンタカー
13. 船
14. その他(徒歩・自転車等)

※1: 主要駅等から空港まで運行するバス(例: 東京駅～成田空港) ※2: 主要都市間を高速道路を利用して運行するバス(例: 大阪駅～東京駅)

自家用車、社用・公用車をご利用になった方のみお答え下さい

1. 車は空港内の駐車場に停めている。
2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている。
3. 車は同乗者が乗って帰った。

問4-2-2. 出発空港までの所要時間をお答え下さい。

1. 30分以内
2. 31分～1時間
3. 1時間1分～1時間30分
4. 1時間31分～2時間
5. 2時間1分～2時間30分
6. 2時間31分～3時間
7. 3時間1分以上

問4-2-3. 出発空港までの交通費をお答え下さい。

1. 1,000円以下
2. 1,001～2,000円
3. 2,001～3,000円
4. 3,001～4,000円
5. 4,001～5,000円
6. 5,001～10,000円
7. 10,001円以上

問4-2-4. 出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか？

時間 分前

問4-3-1. 現在、ご搭乗されている便の航空券についてお答え下さい。

搭乗区間	航空券の種類	座席の種類	航空運賃・ツアー料金
【記入例】 出発空港 <input type="text"/> 福岡 到着空港 <input type="text"/> 羽田	【選択肢】 1. 普通運賃 2. 往復割引 3. 回数券 4. マイレージ特典 5. 乗継割引 6. その他割引運賃 7. 団体運賃・パッケージツアー等	【選択肢】 1. 普通席 2. 普通席以外 ※ファーストクラス・クラス 【ANA】プレミアムクラス 【ANA】など	【記入上の注意】 乗継割引、ツアー等で区間毎の航空運賃が分らない場合は、 合計金額(全区間合計の航空運賃・パッケージツアーの料金等) を記入し、さらに口にし印を記入。
出発空港 <input type="text"/> 到着空港 <input type="text"/>	番号をご記入下さい <input type="text"/>	番号をご記入下さい <input type="text"/>	<input type="text"/> 円/人 合計金額 <input type="text"/>

問4-3-2. 本日、到着空港から目的地までに国内線を乗り継ぐ場合は、乗り継ぎ先の空港を順番にご記入下さい。

乗り継ぎの別について

◆福岡空港 → 羽田空港 → 新千歳空港 と乗り継ぐ場合。
(福岡空港 → 羽田空港 の区間において本調査を受けられた場合、「乗り継ぎ先空港: その①」に「新千歳」とご記入下さい。)

※飛行機を乗り換えるために以下の空港間を移動する方も『国内線を乗り継ぐ』とお考え下さい。

◆羽田空港 ⇄ 成田空港 ◆伊丹空港 ⇄ 関西空港 ⇄ 神戸空港 ⇄ 伊丹空港
◆中部空港 ⇄ 名古屋小牧空港 ◆新千歳空港 ⇄ 丘珠空港

問4-4. 到着空港から目的地までの交通機関をご利用予定の順に番号でご記入下さい。
(本日、国内線を乗り継ぐ方は、国内線の最終到着空港から目的地までにご利用予定の交通機関をご記入下さい。)

本日、国際線を利用される方へ

※本日、到着空港で直接国際線に乗り継ぐ方は、問4-5にお進み下さい。

※到着空港以外の空港で国際線を利用される方は、到着空港から国際線出発空港までの行程をお答え下さい。
(例えば、羽田空港→成田空港、伊丹空港→関西空港)

1. 新幹線
2. JR特急(新幹線除く)
3. JR在来線(新幹線・特急除く)
4. 私鉄・地下鉄
5. モノレール
6. 空港直行バス※1
7. 高速バス※2(空港直行以外)
8. 貸切バス
9. 路線バス・市内電車
10. タクシー・ハイヤー
11. 自家用車、社用・公用車
12. レンタカー
13. 船
14. その他(徒歩・自転車等)
15. 分からない

※1: 主要駅等から空港まで運行するバス(例: 東京駅～成田空港) ※2: 主要都市間を高速道路を利用して運行するバス(例: 大阪駅～東京駅)

問4-5. 現在の行程の目的地が、現住所(問1)の場合は口にし印を、それ以外の場合は住所をお答え下さい。

現住所が目的地である いいえ 都・道 府・県 区・市 郡 区・町 村

はい

海外不明

・住所が不明、特定できない場合は、近くの駅名やホテル、観光地名などをご記入下さい。
・出発地が海外の方は国名をご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。良い空の旅をお過ごしください。

3 調査対象

本調査の対象は、調査実施日に国内航空路線を利用する全航空旅客とする。

4 調査方法

国内航空会社（22社）の協力を得て、原則として客室乗務員が航空機内で調査票の配布・回収を行っているが、フライト時間が短い路線の場合、搭乗口で配布し機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席にセットし機内で回収する方法をとっている。

また、客室乗務員が乗務しない路線や、航空機内での実施が困難な路線では、搭乗手続き時に係員が調査票を配布し、搭乗時に回収を行う方法等をとっている。

5 調査実施日

本調査は、平成23年11月13日（日曜日）【休日調査】、11月16日（水曜日）【平日調査】に実施した。

なお、天候不良等で調査を実施できなかった便については、原則翌日または翌週の同曜日に調査を実施している。（場合によって調査実施日が異なる場合がある。）

また、休日調査については、休日の旅客流動の特性を踏まえるため、調査を実施できない場合、翌週の日曜日に原則実施している。

6 回収状況

調査実施日における航空会社別の旅客実績及び回収調査票数等は、次表に示すとおりである。

航空会社別回収結果

航空会社	項目	平日調査					休日調査				
		提供座席数(A) (席/日)	旅客数(B) (人/日)	搭乗率(B/A) (%)	回収数(C) (票)	回収率(C/B) (%)	提供座席数(A) (席/日)	旅客数(B) (人/日)	搭乗率(B/A) (%)	回収数(C) (票)	回収率(C/B) (%)
日本航空グループ (JAL・JTA・JAC・RAC・J-AIR・JEX)		129,405	85,183	65.8%	50,400	59.2%	130,036	101,971	78.4%	68,309	67.0%
全日本空輸グループ(ANA・ANK・AKX)		161,766	107,873	66.7%	49,894	46.3%	167,235	128,283	76.7%	64,101	50.0%
新中央航空株式会社		380	230	60.5%	155	67.4%	342	256	74.9%	200	78.1%
オリエンタルエアブリッジ株式会社		936	543	58.0%	418	77.0%	1,014	603	59.5%	492	81.6%
東邦航空株式会社		108	76	70.4%	48	63.2%	90	47	52.2%	38	80.9%
株式会社北海道エアシステム		720	374	51.9%	211	56.4%	720	315	43.8%	204	64.8%
スカイマーク株式会社		24,072	15,769	65.5%	6,048	38.4%	23,718	20,423	86.1%	8,555	41.9%
北海道国際航空株式会社		10,433	6,416	61.5%	3,899	60.8%	10,433	8,665	83.1%	6,596	76.1%
アイベックスエアラインズ株式会社		2,320	1,721	74.2%	1,327	77.1%	2,740	2,192	80.0%	1,705	77.8%
天草エアライン株式会社		384	185	48.2%	88	47.6%	384	257	66.9%	174	67.7%
スカイネットアジア航空株式会社		8,363	4,750	56.8%	2,868	60.4%	8,384	6,596	78.7%	3,832	58.1%
株式会社スターフライヤー		5,418	3,611	66.6%	2,343	64.9%	6,132	5,137	83.8%	3,733	72.7%
株式会社フジドリームエアラインズ		2,376	1,453	61.2%	1,116	76.8%	2,376	1,815	76.4%	1,500	82.6%
第一航空株式会社		90	63	70.0%	42	66.7%	54	35	64.8%	31	88.6%
新日本航空株式会社		54	25	46.3%	15	60.0%	54	17	31.5%	12	70.6%
合 計		346,825	228,272	65.8%	118,872	52.1%	353,712	276,612	78.2%	159,482	57.7%

7 集計内容

本調査においては、次章の「1．集計結果（平日）」及び「2．集計結果（休日）」の表1～表15に示す各集計を行った。各表の内容については、以下にまとめるとおりである。

なお、問1および問3の回答に基づき、旅客の個人属性についての単純集計結果をまとめると、以下に示すとおりとなる。

単純集計結果（1）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男性	78,370	69.0%	83,678	54.6%
	女性	35,173	31.0%	69,688	45.5%
	(不明)	5,329	-	6,116	-
	合計	118,872	100.0%	159,482	100.0%
職業	会社役員	14,572	12.9%	13,682	9.0%
	会社員	54,290	48.2%	63,597	42.0%
	公務員	7,666	6.8%	11,500	7.6%
	農業・漁業	1,584	1.4%	1,783	1.2%
	商工・自営業	4,380	3.9%	6,739	4.4%
	自由業	3,004	2.7%	4,640	3.1%
	学生・生徒・児童	4,730	4.2%	10,248	6.8%
	無職・その他	22,424	19.9%	39,264	25.9%
	(不明)	6,222	-	8,029	-
	合計	118,872	100.0%	159,482	100.0%

単純集計結果（２）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
年齢	14歳以下	2,937	2.6%	7,175	4.7%
	15～19歳	1,590	1.4%	2,919	1.9%
	20～24歳	3,705	3.3%	6,332	4.1%
	25～29歳	7,344	6.5%	13,045	8.5%
	30～34歳	9,087	8.0%	14,282	9.3%
	35～39歳	11,788	10.4%	15,160	9.9%
	40～44歳	13,265	11.7%	15,241	10.0%
	45～49歳	13,241	11.7%	15,029	9.8%
	50～54歳	13,252	11.7%	16,291	10.6%
	55～59歳	12,494	11.0%	15,157	9.9%
	60～64歳	11,964	10.5%	15,272	10.0%
	65～69歳	6,204	5.5%	8,096	5.3%
	70～74歳	3,835	3.4%	5,192	3.4%
	75歳以上	2,835	2.5%	3,907	2.6%
	(不明)	5,331	-	6,384	-
合計	118,872	100.0%	159,482	100.0%	
年収 (税込み)	なし	11,737	10.8%	23,163	16.0%
	100万円未満	4,766	4.4%	9,024	6.2%
	100～200万円未満	5,446	5.0%	10,231	7.1%
	200～300万円未満	8,322	7.6%	14,713	10.2%
	300～400万円未満	9,681	8.9%	15,952	11.0%
	400～500万円未満	9,627	8.8%	13,813	9.5%
	500～700万円未満	17,663	16.2%	19,774	13.7%
	700～1000万円未満	20,220	18.6%	17,819	12.3%
	1000～1500万円未満	14,277	13.1%	12,435	8.6%
	1500～2000万円未満	3,595	3.3%	3,784	2.6%
	2000万円以上	3,639	3.3%	4,049	2.8%
	(不明)	9,899	-	14,725	-
	合計	118,872	100.0%	159,482	100.0%

単純集計結果（３）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	北海道	12,193	10.4%	16,621	10.5%
	青森県	1,007	0.9%	1,257	0.8%
	岩手県	416	0.4%	473	0.3%
	宮城県	1,522	1.3%	1,978	1.3%
	秋田県	892	0.8%	1,321	0.8%
	山形県	596	0.5%	807	0.5%
	福島県	535	0.5%	835	0.5%
	茨城県	1,442	1.2%	2,222	1.4%
	栃木県	745	0.6%	1,051	0.7%
	群馬県	586	0.5%	931	0.6%
	埼玉県	5,043	4.3%	6,685	4.2%
	千葉県	6,383	5.4%	7,681	4.9%
	東京都	17,297	14.7%	22,404	14.2%
	神奈川県	9,994	8.5%	12,673	8.0%
	新潟県	806	0.7%	1,146	0.7%
	富山県	559	0.5%	694	0.4%
	石川県	1,290	1.1%	1,464	0.9%
	福井県	469	0.4%	618	0.4%
	山梨県	265	0.2%	507	0.3%
	長野県	498	0.4%	685	0.4%
岐阜県	630	0.5%	889	0.6%	
静岡県	1,030	0.9%	1,761	1.1%	
愛知県	3,145	2.7%	4,863	3.1%	
三重県	537	0.5%	808	0.5%	
滋賀県	480	0.4%	572	0.4%	

単純集計結果（４）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	京都府	1,083	0.9%	1,405	0.9%
	大阪府	7,742	6.6%	9,403	6.0%
	兵庫県	4,769	4.1%	5,547	3.5%
	奈良県	825	0.7%	1,104	0.7%
	和歌山県	504	0.4%	816	0.5%
	鳥取県	406	0.3%	567	0.4%
	島根県	778	0.7%	1,228	0.8%
	岡山県	1,047	0.9%	1,462	0.9%
	広島県	1,656	1.4%	2,312	1.5%
	山口県	950	0.8%	1,618	1.0%
	徳島県	908	0.8%	1,254	0.8%
	香川県	796	0.7%	1,242	0.8%
	愛媛県	1,742	1.5%	2,593	1.6%
	高知県	777	0.7%	1,043	0.7%
	福岡県	8,235	7.0%	11,107	7.0%
	佐賀県	806	0.7%	1,345	0.9%
	長崎県	2,034	1.7%	3,162	2.0%
	熊本県	2,375	2.0%	3,400	2.2%
	大分県	1,162	1.0%	2,124	1.3%
	宮崎県	2,082	1.8%	2,610	1.7%
	鹿児島県	3,175	2.7%	4,051	2.6%
	沖縄県	4,690	4.0%	6,598	4.2%
	海外	616	0.5%	760	0.5%
	(不明)	1,354	-	1,785	-
合計		118,872	100.0%	159,482	100.0%

表1 OD表(空港間純流動) [問4-3-1・問4-3-2]

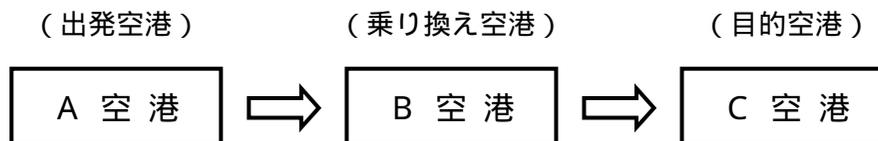
表1は、各旅客の調査実施日における最初の出発空港と最後の到着空港(目的空港)間における流動について集計したものであり、純流動ベースの空港間OD表である。

純流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地にかかわらず1トリップとして集計する流動である。

以下の例に示すとおり、A空港を出発し、最終的にC空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A空港][C空港]のトリップを行った旅客として集計される。

したがって、純流動ベースのOD表においては、路線(直行便)が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例 (乗り換えを1回行った場合)



目的空港 出発空港	A	B	C
A	0	0	1
B	0	0	0
C	0	0	0

表2 OD表(空港間総流動) [問4-3-1・問4-3-2]

表2は、各路線における流動を集計したものであり、総流動ベースのOD表である。

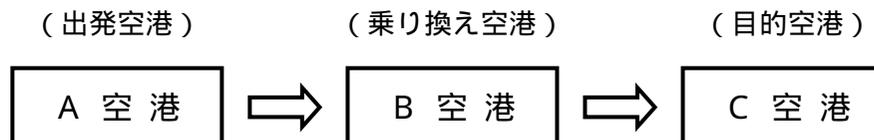
総流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地の状況を考慮し、区間毎の流動を1トリップとして集計する流動である。

以下の例に示すとおり、A空港を出発し、B空港で乗り換えを行い、最終的にC空港に至った旅客は、[A空港] [B空港]として1トリップ、[B空港] [C空港]として1トリップの計2トリップが集計される。

したがって、総流動ベースのOD表では、原則として路線(直行便)が開設・運航されている空港間みの流動量が集計される。

ただし、羽田 成田、伊丹 関西、関西 神戸、神戸 伊丹、新千歳 丘珠、中部 小牧、広島 広島西 の区間については、地上交通機関を利用して当該区間を乗り継いだ旅客数を集計しており、表2の中では内数として括弧書きで示している。

例 (乗り換えを1回行った場合)



目的空港 出発空港	A	B	C
A	0	1	0
B	0	0	1
C	0	0	0

表3 OD表(県間流動) [問1・問4 - 1・問4 - 5]

表3は、出発地(出発空港側)・目的地(到着空港側)の観点から、都道府県間における流動を集計したものであり、純流動ベースのOD表である。

すなわち、ここでは、旅客がどの都道府県(出発地)からどの都道府県(目的地)への移動に際して航空を利用したのかについて集計したものであり、したがって、出発地あるいは目的地となる都道府県は、出発空港あるいは目的空港が立地する都道府県とは、必ずしも一致しないことになる。

なお、出発地あるいは目的地については、国際線との乗り換えを行う場合は外国として集計され、無回答の場合は不明として集計される。

表4 空港別 出発地・目的地・現住所 [問1・問4-1・問4-3-1・問4-3-2・問4-5]

表4は、各空港における出発旅客の出発地、到着旅客の目的地、及びこれらの合計と、出発旅客及び到着旅客の現住所について集計したものである。

なお、ここでの、出発旅客、到着旅客とは、乗り換え旅客を含んでおらず、純流動ベースのOD集計結果(表1)から得られる各空港の発着旅客数に一致する。また、表4に示す市区町村は、平成23年12月1日時点の全国地方公共団体コード(総務省)に準じており、各空港の所在都道府県を最初に表示し、以降は全国地方公共団体コード順に示している。

例) 羽田空港 平日 表4 空港別 出発地・目的地・現住所 (単位:人)

地区名	出発旅客数(出発地)	%	到着旅客数(目的地)	%	合計(乗降旅客数)	%	乗降客の現住所	%	
東京都									
千代田区	1,089	1.0	1,576	1.6	2,665	1.3	153	0.1	
中央区	832	0.8	1,110	1.1	1,942	1.0	364	0.3	
港区	1,531	1.5	1,939	2.0	3,470	1.7	636	0.6	
新宿区	702	0.7	1,104	1.1	1,806	0.9	499	0.4	
文京区	440	0.4	397	0.4	837	0.4	357	0.3	
出発旅客数(出発地)	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港の出発便に搭乗した旅客(羽田空港で乗り換えた旅客を除く)の出発地について、市区町村別に集計したものである。ここで出発地とは、調査当日の対象トリップにおいて羽田空港に向けて移動し始めた地点である。 ・上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した旅客が1,089人であったことを示している。 ・羽田空港を出発した旅客の到着地については、到着空港の表4における“到着旅客数(目的地)”に集計される。 								
到着旅客数(到着地)	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港の到着便に搭乗していた旅客(羽田空港で乗り換える旅客を除く)の到着地について、市区町村別に集計したものである。ここで到着地とは、対象トリップの目的地を意味している。 ・上記の例では、羽田空港で降機した後、千代田区を目的地として向かった旅客が1,576人であったことを示している。 ・羽田空港に到着した旅客の出発地については、出発空港の表4における“出発旅客数(出発地)”に集計される。 								
合計(乗降旅客数)	<ul style="list-style-type: none"> ・出発旅客数(出発地)と到着旅客数(目的地)の合計値 								
乗降客の現住所	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港を利用した旅客(羽田空港で乗り換えた旅客を除く)の現住所について、市区町村別に集計したものである。 ・上記の例では、羽田空港利用者のうち、千代田区に現住所がある旅客が153人であったことを示している。 								

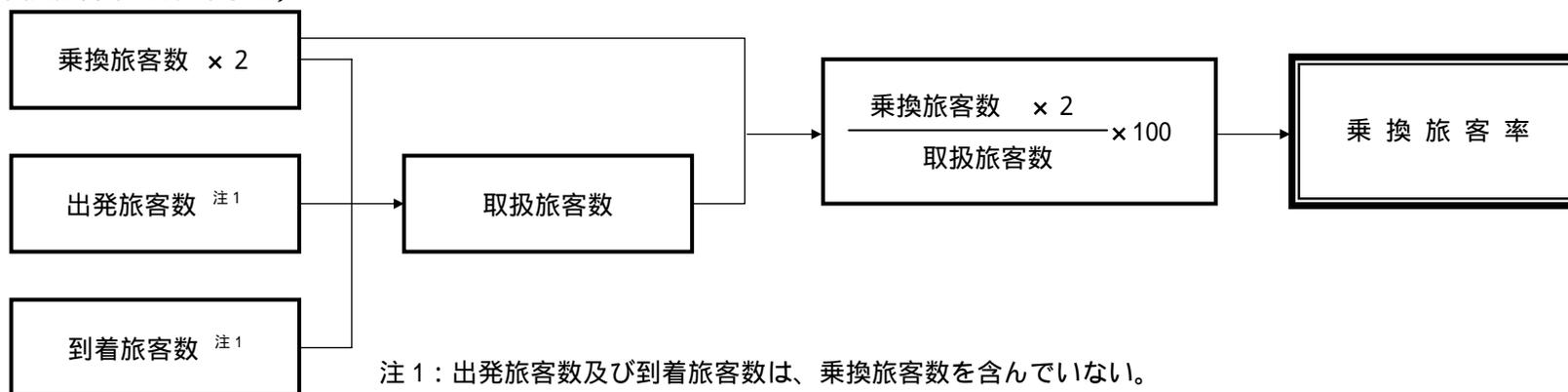
表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数 [問4-3-1・問4-3-2]

表5は、各空港における純流動ベースでの出発旅客数と到着旅客数、及び当該空港で飛行機の乗り換えを行った旅客（乗換旅客数）について集計したものである。また、これらの数値を用いて、以下に示す方法で、乗換旅客がそれぞれの空港における取扱旅客数（出発旅客・到着旅客・乗換旅客の合計）に対し、どの程度の割合を占めているか（乗換旅客率）を算出している。

なお、乗換旅客数については、空港取扱い旅客の観点からみた場合、乗り換えのために空港に到着した時点で到着旅客として1人、その後、他の路線（便）で出発した時点で出発旅客として1人の延べ2人の旅客としてカウントする必要がある。このことから、ここでの計算過程においては、乗換旅客数を2倍することによって、取扱旅客数を計算している。

表5の乗換旅客数の列には2倍する前の乗換旅客数（実人数）が入力されている。

（乗換旅客率の算出方法）



例) 平日 表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数 (単位：人)

空港名	出発旅客数	到着旅客数	合計	乗換旅客数	取扱旅客数	乗換旅客率 %
稚内	60	79	139	0	139	0.0
釧路	376	425	801	5	811	1.2
函館	893	878	1,771	21	1,813	2.3
旭川	604	623	1,227	9	1,245	1.4
帯広	479	475	954	3	960	0.6

注2：函館空港において飛行機を乗り継いだ旅客数が21人であったことを示している。

函館空港の取扱旅客数 = 出発旅客数 (893人) + 到着旅客数 (878人) + (乗換旅客数 (21人) × 2) = 1,813人

<< 表6 ~ 表10の集計対象 >>

表6～表10は純流動ベースの空港間ODの集計表である。集計対象は、路線（直行便）が開設・運航されている空港間（平日：212組、休日：213組）と、開設・運航されている路線（直行便）はないながらも、純流動ベースによる空港間OD表（表1）において往復合計で20以上のサンプル（回収票）があった空港間（平日：47組、休日：59組）であり、平日調査で256組、休日調査で263組のODペアが集計対象となる。

集計は純流動ベースであるため、路線（直行便）が開設・運航されている空港間ODの集計においては、乗り換え経路の旅客が含まれている。例えば、福岡～新千歳路線の集計には直行便利用者の他、福岡～羽田～新千歳のように羽田空港等で乗り換えを行った旅客が含まれている。

また、路線（直行便）が開設・運航されている空港間ODについては『航空輸送統計年報』の掲載順に集計結果を示しており、路線（直行便）が開設されていないODについては、以下のように優先順位を設定し集計結果を示している。

路線（直行便）が開設されていない路線の表示に係る考え方（優先順位）

羽田 成田 伊丹 関西 新千歳 中部 福岡 那覇 その他 *相手空港は空港コード順とする。

直行便以外で集計対象とした20以上のサンプルがあったODペアは、次のとおりである。

直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプル(回収票)があったODペア

平日調査

羽田・成田	伊丹・関西	新千歳・中部・福岡・那覇	その他
羽田－紋別 (48)	伊丹－釧路 (31)	新千歳－米子 (20)	三沢－鹿児島 (32)
羽田－丘珠 (61)	伊丹－函館 (41)	新千歳－岡山 (32)	三沢－石垣 (22)
羽田－但馬 (33)	伊丹－旭川 (54)	新千歳－徳島 (25)	仙台－鹿児島 (34)
羽田－種子島 (34)	伊丹－帯広 (104)	新千歳－高松 (28)	秋田－岡山 (20)
羽田－屋久島 (57)	伊丹－女満別 (36)	新千歳－松山 (40)	小松－鹿児島 (25)
羽田－徳之島 (31)	伊丹－三沢 (29)	新千歳－長崎 (28)	神戸－石垣 (24)
成田－秋田 (40)	伊丹－庄内 (21)	新千歳－熊本 (50)	広島－石垣 (22)
	伊丹－徳之島 (28)	新千歳－大分 (30)	
	伊丹－宮古 (26)	新千歳－宮崎 (48)	
	伊丹－石垣 (23)	新千歳－鹿児島 (118)	
	関西－宮古 (33)	新千歳－那覇 (218)	
		中部－釧路 (22)	
		中部－宮古 (23)	
		福岡－函館 (23)	
		福岡－旭川 (25)	
		福岡－青森 (35)	
		福岡－秋田 (45)	
		福岡－宮古 (20)	
		福岡－石垣 (68)	
		那覇－函館 (35)	
		那覇－青森 (23)	
		那覇－富山 (31)	

()内の数値は、サンプル数を示す。

休日調査

羽田・成田		伊丹・関西		新千歳・中部・福岡・那覇		その他							
羽田	紋別	(62)	伊丹	釧路	(57)	新千歳	岡山	(105)	釧路	山口	宇部	(40)	
羽田	隠岐	(38)	伊丹	函館	(21)	新千歳	徳島	(31)	函館	広島	島	(28)	
羽田	福江	(46)	伊丹	旭川	(88)	新千歳	高松	(46)	函館	熊本		(26)	
羽田	対馬	(23)	伊丹	帯広	(54)	新千歳	松山	(29)	函館	鹿児島		(25)	
羽田	天草	(24)	伊丹	女満別	(66)	新千歳	長崎	(57)	旭川	小松	山	(26)	
羽田	種子島	(36)	伊丹	三沢	(31)	新千歳	熊本	(43)	旭川	松山	山	(21)	
羽田	屋久島	(134)	伊丹	庄内	(50)	新千歳	大分	(44)	旭川	森島	島	(26)	
羽田	与論	(32)	伊丹	八丈島	(21)	新千歳	宮崎	(28)	青森	沢	広島	島	(20)
羽田	徳之島	(22)	伊丹	福江	(23)	新千歳	鹿児島	(74)	三沢	熊本	島	(33)	
羽田	久米島	(30)	伊丹	種子島	(37)	新千歳	那覇	(309)	仙台	台	松山	山	(37)
			伊丹	与論	(29)	新千歳	石垣	(26)	仙台	台	高知	島	(21)
			伊丹	徳之島	(25)	中部	宮古	(27)	秋田	田	広島	島	(30)
			伊丹	石垣	(34)	福岡	函館	(22)	秋田	田	長崎	崎	(20)
			伊丹	西宮	(46)	福岡	旭川	(26)	神戸	山	宮古	垣	(23)
						福岡	青森	(51)	岡山	山	石垣	垣	(40)
						福岡	三沢	(22)	広	島	石垣	垣	(23)
						福岡	宮古	(42)					
						福岡	石垣	(60)					
						那覇	旭川	(24)					

()内の数値は、サンプル数を示す。

表6 OD別 旅行目的 [問2 - 1・問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2]

表6は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅客の旅行目的を集計したものである。

表7 OD別 旅行日数 [問2 - 2・問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2]

表7は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅行日数を集計したものであり、日帰り以外の旅客については調査を受けた日が旅行中の何日目であるかについても集計した。

調査を受けた日（日帰り以外の旅客）の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例) 平日 表7 OD別 旅行日数 (単位: 人)

OD名	旅行日数										調査を受けた日(宿泊を伴う旅客)													
	日帰り	%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%	4泊5日以上	%	不明	合計	1日目	%	2日目	%	3日目	%	4日目	%	5日以上	%	不明	合計
羽田 - 新千歳	1,171	12.0	3,280	33.7	2,820	28.9	1,218	12.5	1,253	12.9	351	10,093	4,199	52.3	1,594	19.9	1,249	15.6	448	5.6	533	6.6	899	8,922
羽田 - 伊丹	2,101	28.6	2,713	36.9	1,605	21.8	448	6.1	486	6.6	198	7,551	2,647	53.8	1,239	25.2	673	13.7	169	3.4	193	3.9	529	5,450
羽田 - 関西	455	29.5	494	32.0	344	22.3	85	5.5	166	10.8	56	1,600	520	50.9	258	25.2	133	13.0	39	3.8	72	7.0	123	1,145
羽田 - 福岡	1,509	14.0	3,809	35.4	3,111	28.9	1,066	9.9	1,265	11.8	342	11,102	4,557	52.5	1,843	21.2	1,342	15.5	382	4.4	553	6.4	916	9,593
羽田 - 那覇	202	4.5	700	15.6	1,685	37.6	1,182	26.4	715	15.9	132	4,616	2,079	52.7	350	8.9	786	19.9	457	11.6	273	6.9	469	4,414

表8 OD別 旅行行程 [問2 - 3・問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2]

表8は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた復路（調査時点が復路の場合は往路）の利用交通機関の状況について集計したものである。

表9 - 1 OD別 利用航空券の種類 [問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2]

表9 - 2 OD別 利用航空券の種類(「その他割引」の割引率の内訳)

表9 - 1は、利用航空券の種類および座席の種類について、純流動ベースによる空港間ODペア別に集計したものであるが、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客は最初の区間の利用航空券の種類を集計している。

利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“回数券”、“マイレージ”、“乗継ぎ割引”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の7区分で集計している。その他割引運賃については、具体的な航空運賃の回答結果に基づき、平成23年11月の普通運賃に対する割引率を算出した上で、以下の集計表9 - 2の例に示すとおり7段階の幅で集計した。なお、普通運賃が複数存在する路線に関して、割引率の計算に用いる普通運賃は大手航空会社(JALまたはANA)の普通運賃としている。また、普通運賃が複数存在する路線は*で示している。

なお、具体的な航空運賃が未記入(割引率不明)であるサンプルが多くなっているが、表9 - 2において“その他割引(不明)”として集計している。また、平成22年度調査においては航空運賃に関する設問が変更され、“航空運賃またはパッケージツアー料金”を記入する形式となったため、普通運賃よりも高い金額を回答したサンプルが増加している(航空運賃とパッケージツアー料金が誤認された可能性がある)。この様な、普通運賃よりも高額を回答したサンプルに関しては、“その他割引(不明)”に分類をして集計している。

例) 平日 表9 - 2 OD別 利用航空券の種類(「その他割引」の割引率の内訳)(単位:人)

OD名	平成23年11月 普通運賃	その他割引 (0~10%)	%	その他割引 (11~20%)	%	その他割引 (21~30%)	%	その他割引 (31~40%)	%	その他割引 (41~50%)	%	その他割引 (51~60%)	%	その他割引 (61~%)	%	その他割引 (不明)	その他割引 合計
羽田 - 新千歳 *	33,500	36	2.2	219	13.5	291	18.0	208	12.8	133	8.2	155	9.6	578	35.7	1,414	3,034
羽田 - 伊丹 *	22,500	20	1.1	19	1.1	189	10.6	1,031	57.9	409	23.0	97	5.4	15	0.8	1,432	3,212
羽田 - 関西 *	22,500	1	0.3	5	1.5	23	7.1	180	55.7	87	26.9	23	7.1	4	1.2	284	607
羽田 - 福岡 *	36,700	47	2.3	244	11.8	272	13.2	529	25.6	94	4.6	330	16.0	549	26.6	1,748	3,813
羽田 - 那覇 *	40,800	49	9.5	76	14.8	42	8.2	51	9.9	64	12.4	90	17.5	143	27.8	446	961

表 9 - 3 路線別 利用航空券の種類 [問 4 - 3 - 1 ・ 問 4 - 3 - 2]

表 9 - 4 路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表 9 - 3 ・ 表 9 - 4 は、表 9 - 1 ・ 表 9 - 2 について路線別に集計したものである。したがって、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客についても最初の区間のみを集計対象としている。

また、集計対象となる路線は直行便が開設・運航されている空港間のみとなり、表 9 - 1 ・ 表 9 - 2 の全 OD ペアと表 9 - 3 ・ 表 9 - 4 の全路線の合計件数は一致している。

表 10 OD別 乗り換え空港 [問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2]

表 10 は、純流動ベースによる空港間ODペアについて、直行便の利用者と他空港で乗り換えを行った旅客に分けて、その内訳を集計したものであり、特に、乗り換えを行った旅客が利用した空港（乗り換え空港）については、上位3空港を抽出し、それぞれにおける乗り換え旅客数を集計した。その際、2回以上の乗り換えもカウントしており、そのレコードは上位カウントの対象から外している。

羽田 成田、伊丹 関西、関西 神戸、神戸 伊丹、新千歳 丘珠、中部 小牧、広島 広島西 の区間は、乗り換え経路として対象としている。

表 11 出発空港別 最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無

[問4 - 2 - 1・問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2・問4 - 4]

表 11 は、各出発空港において出発旅客が空港到着時に利用した交通手段（最終アクセス手段）と、各到着空港において到着旅客が目的空港到着後に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計したものである。また最終アクセス手段が“自家用車”の旅客については、駐車場利用の有無について“空港内（空港内の駐車場を利用した）”、“近辺（空港外の近くの駐車場を利用した）”、“無し（同乗者が乗って帰ったため、駐車場の利用無し）”の3区分で集計を行った。

表 12 出発空港別 アクセス所要時間・乗り換え回数 [問4 - 2 - 1・問4 - 2 - 2・問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2]

表 12 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、空港アクセスに際して行った交通機関の乗り換え回数について集計したものである。

表 13 出発空港別 アクセス経費 [問4 - 2 - 3・問4 - 3 - 1・問4 - 3 - 2]

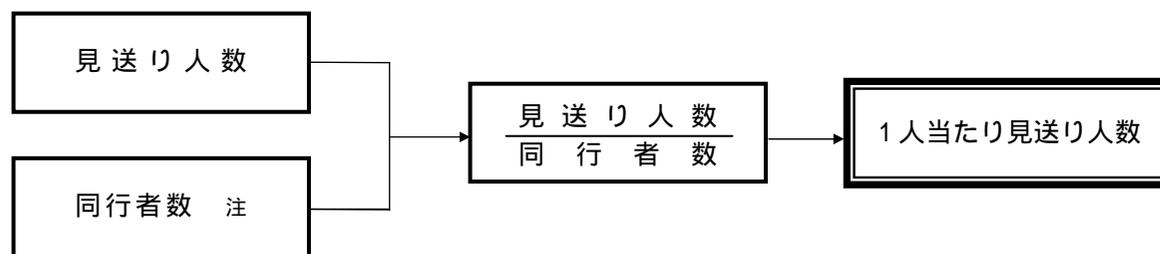
表 13 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。

アクセス経費の集計には自家用車利用者も含まれている。

表 14 出発空港別 見送り人数・空港滞留時間 [問 2 - 6 ・ 問 4 - 2 - 4 ・ 問 4 - 3 - 1 ・ 問 4 - 3 - 2]

表 14 は、各空港における出発旅客 1 人当たりの見送り人数と、出発旅客が出発空港に到着してから搭乗した航空機が出発するまでターミナルビル内にいた時間（空港滞留時間）について集計したものである。旅客 1 人当たり見送り人数の算出方法は、以下に示すとおりである。また、空港滞留時間とは、旅客が航空機の出発時刻の何分前に空港に到着したかを示している。

（ 1 人当たり見送り人数の算出方法 ）



注：同行者数には本人を含む。

表 15 - 1 空港間移動の手段 [問 2 - 4 ・ 問 4 - 2 - 1 ・ 問 4 - 3 - 1 ・ 問 4 - 3 - 2 ・ 問 4 - 4]

表 15 - 2 空港間移動の所要時間 [問 4 - 2 - 2 ・ 問 4 - 3 - 1 ・ 問 4 - 3 - 2]

表 15 - 3 空港間移動の経費 [問 4 - 2 - 3 ・ 問 4 - 3 - 1 ・ 問 4 - 3 - 2]

表 15 は、成田空港、関西空港、中部空港より国際線を利用した（利用する）旅客（出発地あるいは目的地が“海外”の旅客）について、羽田 成田、伊丹 関西、関西 神戸、中部 小牧 の空港間の移動に関する「最終アクセス・最初イグレス手段」、各空港間における「所要時間」・「経費」について集計したものである。

表 15 - 1 の集計項目において集計対象としている行程及びその交通手段のカラムは以下の通りである。また表 15 - 2、表 15 - 3 において集計している「所要時間」・「経費」に関する設問は、空港アクセスに関する設問であるため、下表の印（ 、 、 ）のついた行程のみが集計対象となる。

集計項目	表15 - 1		空港間移動の手段 の集計対象カラム	表15 - 2・表15 - 3	
	行程			集計項目	空港間移動の所要時間 ・費用の集計対象
	→ 集計対象	⇒ 調査区間(国内線)			
海外 成田 羽田 国内各地 国内各地 羽田 成田 海外	羽田最終アクセス 羽田最初イグレス	海外 成田 (地上交通機関) → 羽田 ⇒ 国内各地 国内各地 ⇒ 羽田 → (地上交通機関) 成田 海外	アクセス(5) イグレス(1)	羽田 - 成田	
国内各地 羽田 成田 海外 海外 成田 羽田 国内各地	成田最終アクセス 成田最初イグレス	国内各地 ⇒ 羽田 (地上交通機関) → 成田 海外 海外 成田 → (地上交通機関) 羽田 ⇒ 国内各地	最後イグレス 最初アクセス	羽田 - 成田	
海外 関西 伊丹 国内各地 国内各地 伊丹 関西 海外	伊丹最終アクセス 伊丹最初イグレス	海外 関西 (地上交通機関) → 伊丹 ⇒ 国内各地 国内各地 ⇒ 伊丹 → (地上交通機関) 関西 海外	アクセス(5) イグレス(1)	伊丹 - 関西	
国内各地 伊丹 関西 海外 海外 関西 伊丹 国内各地	関西最終アクセス 関西最初イグレス	国内各地 ⇒ 伊丹 (地上交通機関) → 関西 海外 海外 関西 → (地上交通機関) 伊丹 ⇒ 国内各地	最後イグレス 最初アクセス	伊丹 - 関西	
海外 関西 神戸 国内各地 国内各地 神戸 関西 海外	神戸最終アクセス 神戸最初イグレス	海外 関西 (地上交通機関) → 神戸 ⇒ 国内各地 国内各地 ⇒ 神戸 → (地上交通機関) 関西 海外	アクセス(5) イグレス(1)	神戸 - 関西	
国内各地 神戸 関西 海外 海外 関西 神戸 国内各地	関西最終アクセス 関西最初イグレス	国内各地 ⇒ 神戸 (地上交通機関) → 関西 海外 海外 関西 → (地上交通機関) 神戸 ⇒ 国内各地	最後イグレス 最初アクセス	神戸 - 関西	
海外 中部 小牧 国内各地 国内各地 小牧 中部 海外	小牧最終アクセス 小牧最初イグレス	海外 中部 (地上交通機関) → 小牧 ⇒ 国内各地 国内各地 ⇒ 小牧 → (地上交通機関) 中部 海外	アクセス(5) イグレス(1)	小牧 - 中部	
国内各地 小牧 中部 海外 海外 中部 小牧 国内各地	中部最終アクセス 中部最初イグレス	国内各地 ⇒ 小牧 (地上交通機関) → 中部 海外 海外 中部 → (地上交通機関) 小牧 ⇒ 国内各地	最後イグレス 最初アクセス	小牧 - 中部	

と、と、と、とは同じ行程であり、これらの行程を対象とし表 15-2、表 15 - 3 において空港間移動の所要時間・費用の集計を行っている。